

たき火による火災を防止しよう!!

たき火による火災は、風の強い日にたき火をしたため、火の粉が飛んで火災になってしまったもの、消火が不十分であったため再び燃えだして火災となったもの、野焼き、ゴミの焼却などさまざまな原因があります。しかし、火災になった経過をたどってみると、どれも「ちょっとした不注意」から火災に至っています。たき火による火災を防ぐためにも、日頃から次のことに心掛けましょう。

【たき火を行う時の注意事項】

- 1つ目 乾燥注意報等が発表されている時や、風の強い時はたき火を行わない。
また、たき火をする時は、周囲に燃えやすいものがない場所で行う。
- 2つ目 水バケツ、消火器等による消火の準備をする。
- 3つ目 子どもたちだけでたき火をさせない。
- 4つ目 たき火をしている時は、火の粉が飛ばないように少しずつ燃やす。
- 5つ目 完全に火が消えるまでその場を離れないようにする。
- 6つ目 野焼きは環境問題から法律により禁止されています。



彦根市では火災予防条例で、文化財建造物等の周囲において、たき火や喫煙を禁止している場所があります。これは、かけがえのない国民的財産である文化財建築物等を火災から守るために設けられているものですので、必ず守りましょう。